

氏名	佐々木卓夫
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第214号
学位授与の日付	昭和42年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	体外組織培養法によるリンパ腺腫脹の研究 第1報 リンパ腺腫脹の診断に対する臨床培養法及び蛍光培養法の応用 第2報 各種白血病リンパ腺の臨床培養法及び蛍光培養法による診断について 第3報 リンパ球性白血病マウスのリンパ腺培養に対する各種抗白血病剤の影響 —臨床組織培養法による—
論文審査委員	教授 平木 潔 教授 妹尾左知丸 教授 小坂 淳夫

学位論文内容の要旨

リンパ腺腫脹の診断は組織学的方法に依っても困難な場合がしばしばあり、リンパ腺を培養し、生きたままの状態を観察すれば幾分でもその困難さを軽減出来るのではないかとの考えの下に体外組織培養を試みた。

まず第1編では各種病的リンパ腺を教室考案臨床培養法及び蛍光培養法により培養観察した。その結果それぞれ増生様式及び蛍光像に相違が認められ、鑑別診断の一助になり得ることを確かめた。次いで第2編においては白血病リンパ腺を同法を用いて培養観察し、増生帯の増生様式及び蛍光像の差異により確実に鑑別診断が可能であり骨髓培養と同様リンパ腺培養をも臨床的に充分応用し得ることを確かめた。最後に第3編ではリンパ球性白血病マウスリンパ腺培養に対する各種抗白血病剤の及ぼす影響を検討した結果プレドニソロン、コーチゾン、ACTHの順に細胞増生を抑制する効果を認め、之等薬剤の本症に対する臨床的効果を裏付けることが出来た。

以上3編共昭和41年12月30日発行 岡山医学会雑誌 第78巻11, 12合併号に掲載予定

論文審査の結果の要旨

本研究は教室考案の臨床培養法及び蛍光培養法により白血病を含む各種病的リンパ腺を培養，観察すれば鑑別診の一助になり得る。殊に白血病種の診断が容易であり，更に臨床培養法を用いて白血病リンパ腺に及ぼす各種抗白血病剤の影響を検討している。かかる研究方法によるリンパ腺腫張の研究は初めての試みである。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。